

行政栄養士人材育成に関する実態調査結果報告会
2021年7月31日（土）

都道府県・保健所設置市・特別区に 勤務する行政栄養士を対象とした調査

厚生労働科学研究

「公衆衛生領域を中心とした

自治体栄養士育成プログラム開発のための研究」研究班

目的

公衆衛生領域を中心に勤務する自治体栄養士のための効果的な育成プログラム開発に資するため、都道府県、保健所設置市、特別区に勤務する行政栄養士を対象に人材育成に関する実態や個別のニーズを収集することを目的とした。

調査対象者

対象者は、都道府県、保健所設置市、特別区に勤務し、調査現在、**地域の健康づくりに関わる業務を専従もしくは兼務で担当する行政栄養士**とした。

具体的には、①厚生労働省の調査において、行政栄養士として回答している場合、②雇用形態が常勤または常勤的非常勤（週4日以上で1日6時間以上の勤務）である場合、この2つを充たす者とした。

なお、調査時点で、福祉・保育・高齢者・教育委員会・医療などの分野を専従で担当されている者は、対象外とした。

調査方法

調査はインターネット調査法とした。

インターネットでの回答ができない場合は、研究班ホームページにPDF形式で掲載した調査票をダウンロードの上、FAXまたはメール添付での回答も可能とした。調査の実施は、株式会社サーベイリサーチセンターに委託した。

調査依頼文書は、都道府県、保健所設置市、特別区の衛生主幹部局の栄養士宛に令和3年1月下旬に送付した。

調査票回答期間は、令和3年2月19日（金）までとした（3月2日（金）まで締切延期）。調査の実施にあたり、全国保健所管理栄養士会および公益社団法人日本栄養士会公衆衛生事業部を通じて、周知と協力の依頼を行った。

倫理的配慮

依頼文書には、調査の目的、インターネット調査票へリンクするURLとQRコード、**無記名方式**であること、調査への協力は任意であり回答をもって同意と見なすこと、回答がなくても不利益は生じないこと、情報の取り扱いについて明記した。

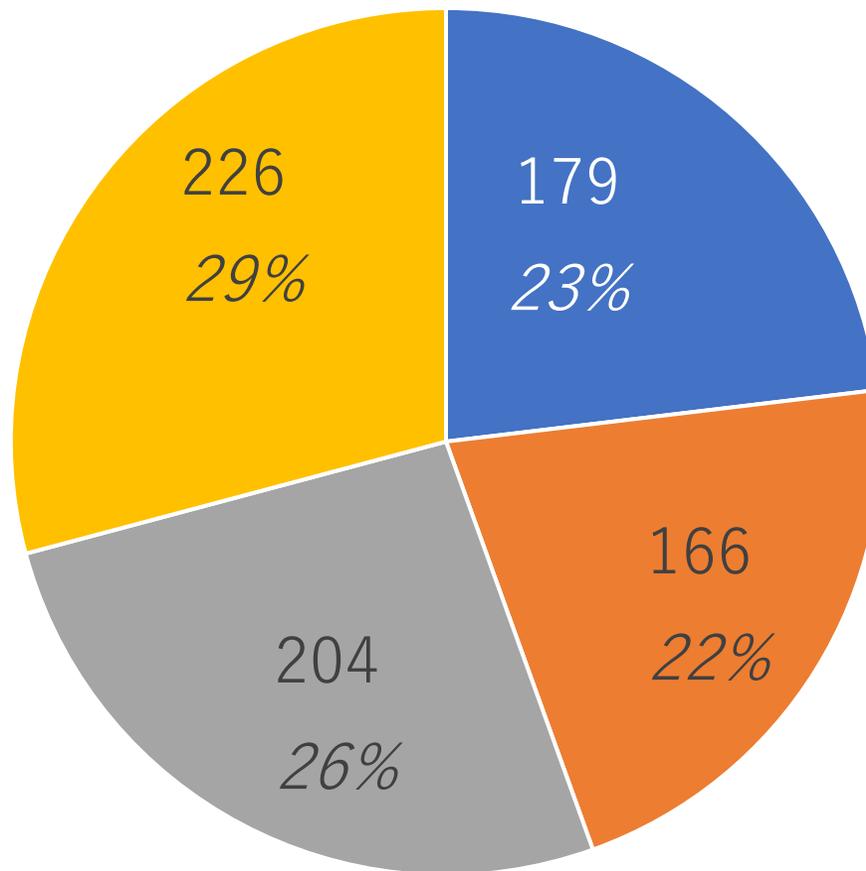
本調査は、大阪市立大学生活科学研究科生活科学部研究倫理委員会に対して、審査を依頼し、その承認を得て実施した。

調査の実施状況

- 都道府県、設置市、特別区本庁、保健所 → 1,192 人
(令和元年6月1日現在の厚労省の行政栄養士配置状況から、
健康づくりを担当する行政栄養士の人数)
- 回答者数 775 人
- 回収率 65.0 %

回答者の年齢構成

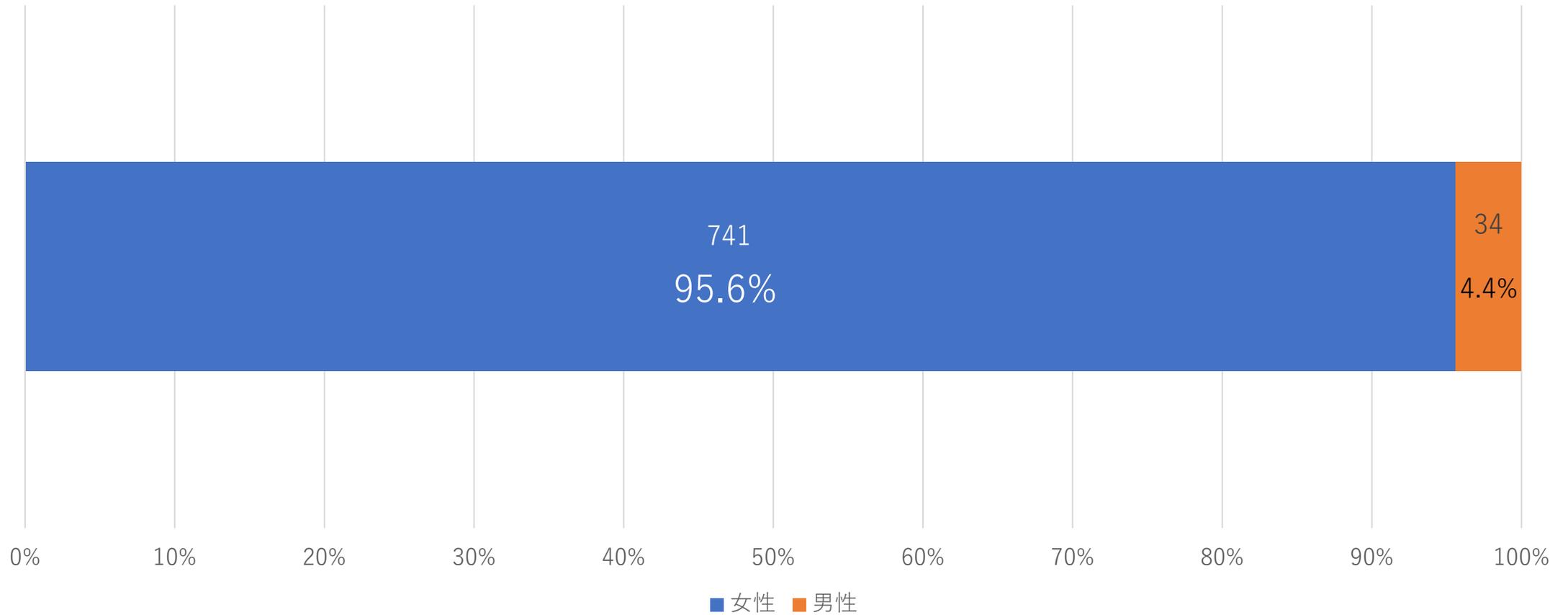
n=775



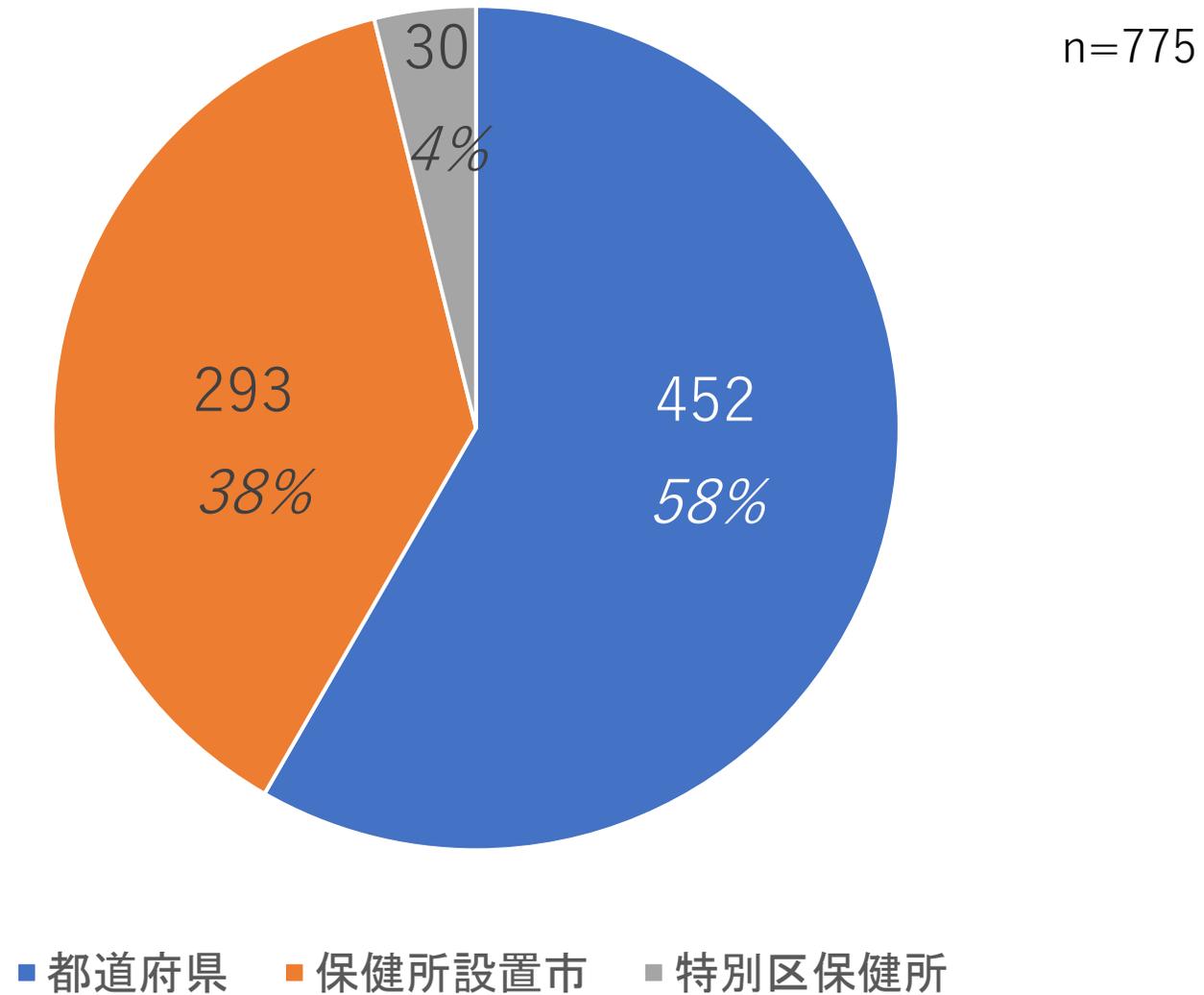
■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代以上

回答者の性別

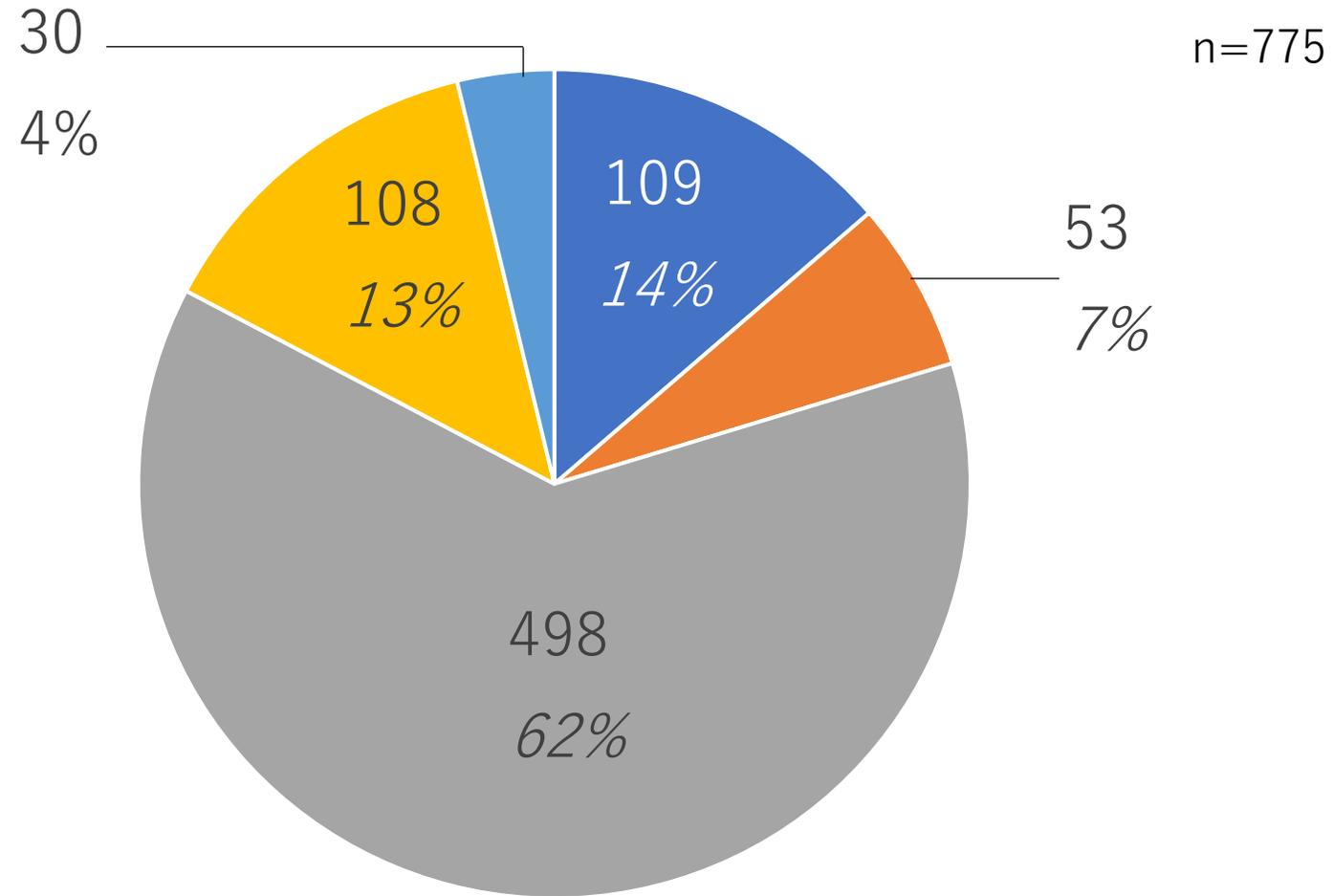
n=775



現在勤務している行政区分

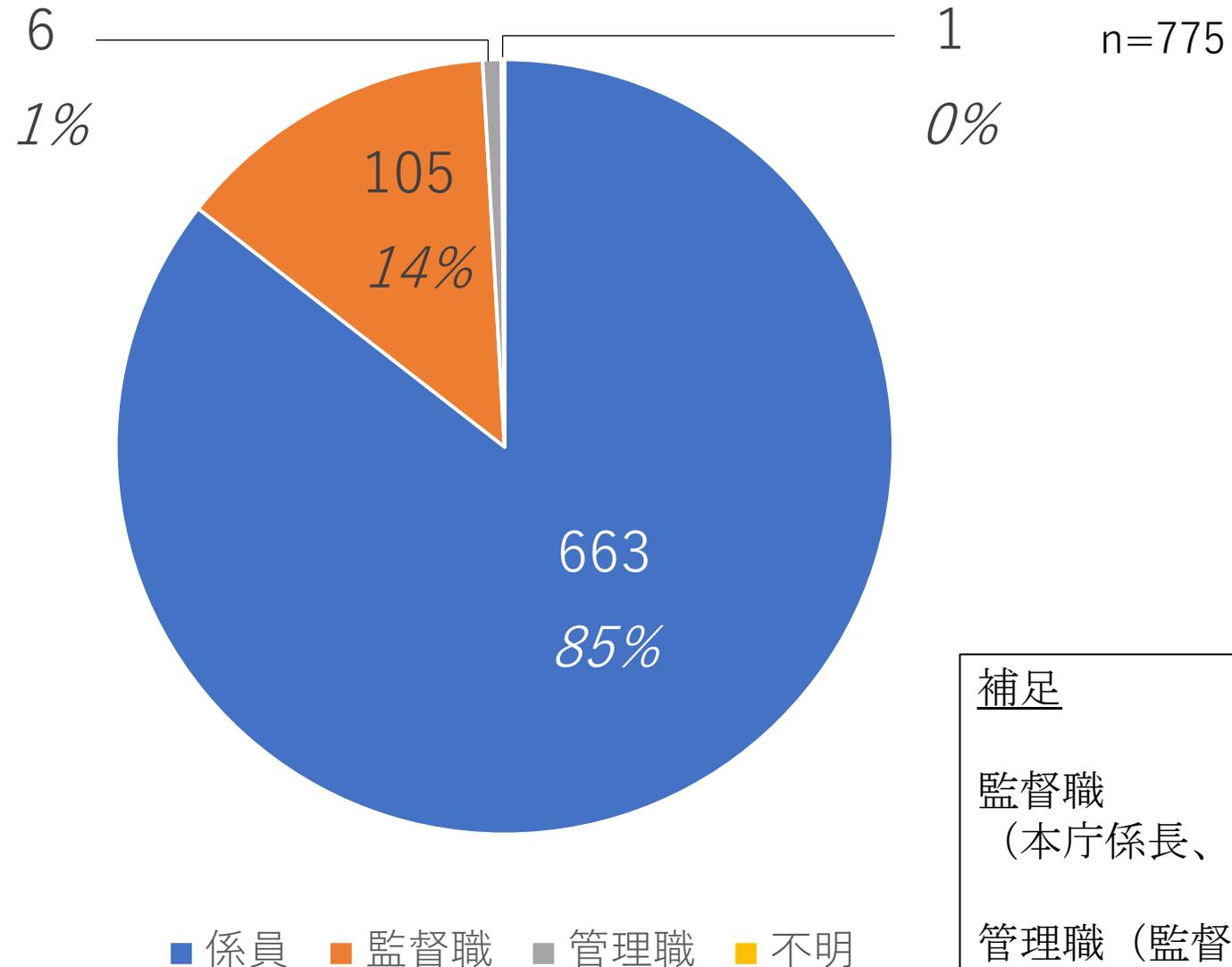


現在勤務している行政機関・部署



■ 本庁 ■ 本庁・保健所 (併設) ■ 保健所 ■ 地域の保健センター ■ その他

現在の職位（本庁での職位として勘案）

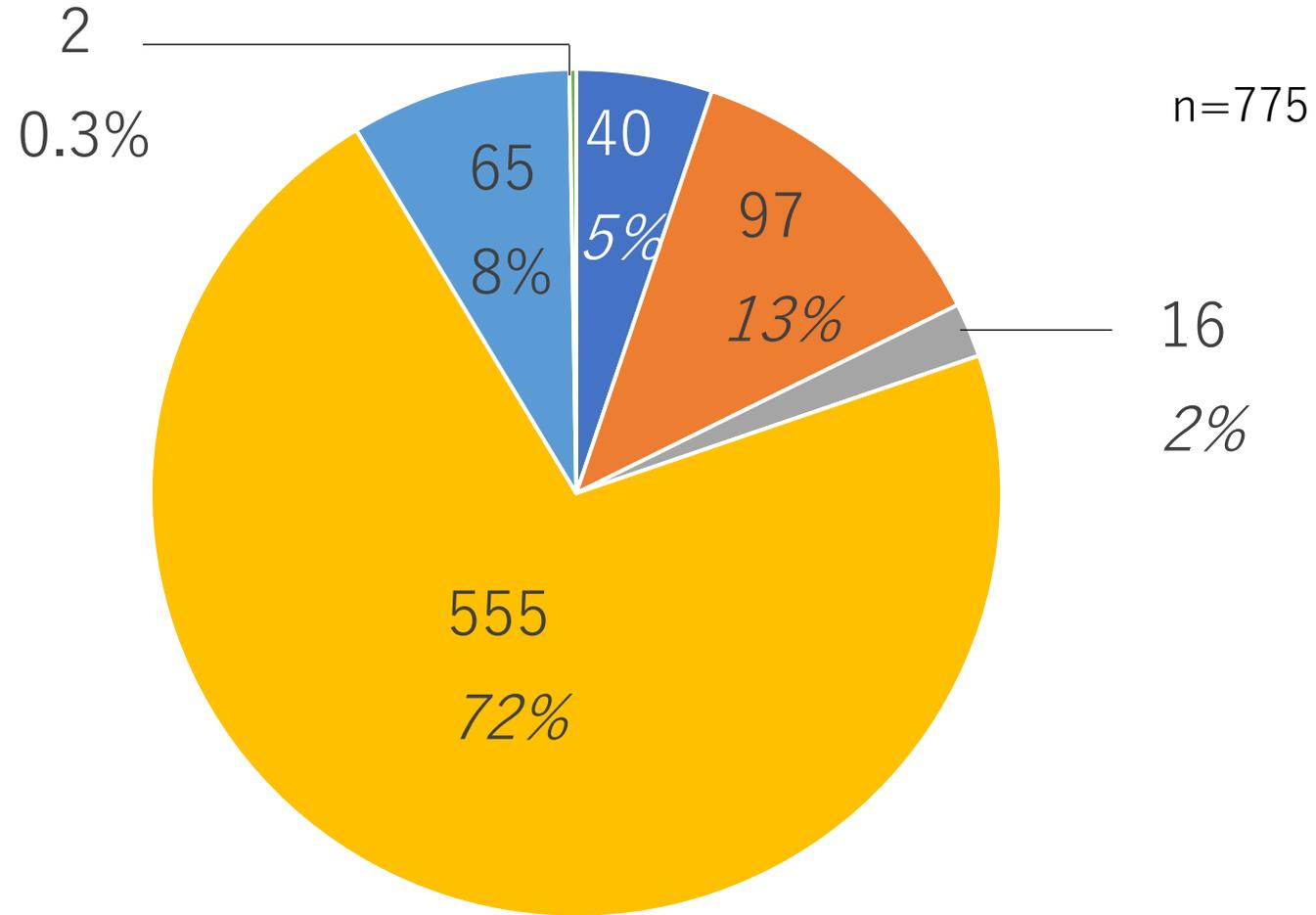


補足

監督職
(本庁係長、保健所課長相当)

管理職 (監督職以上)

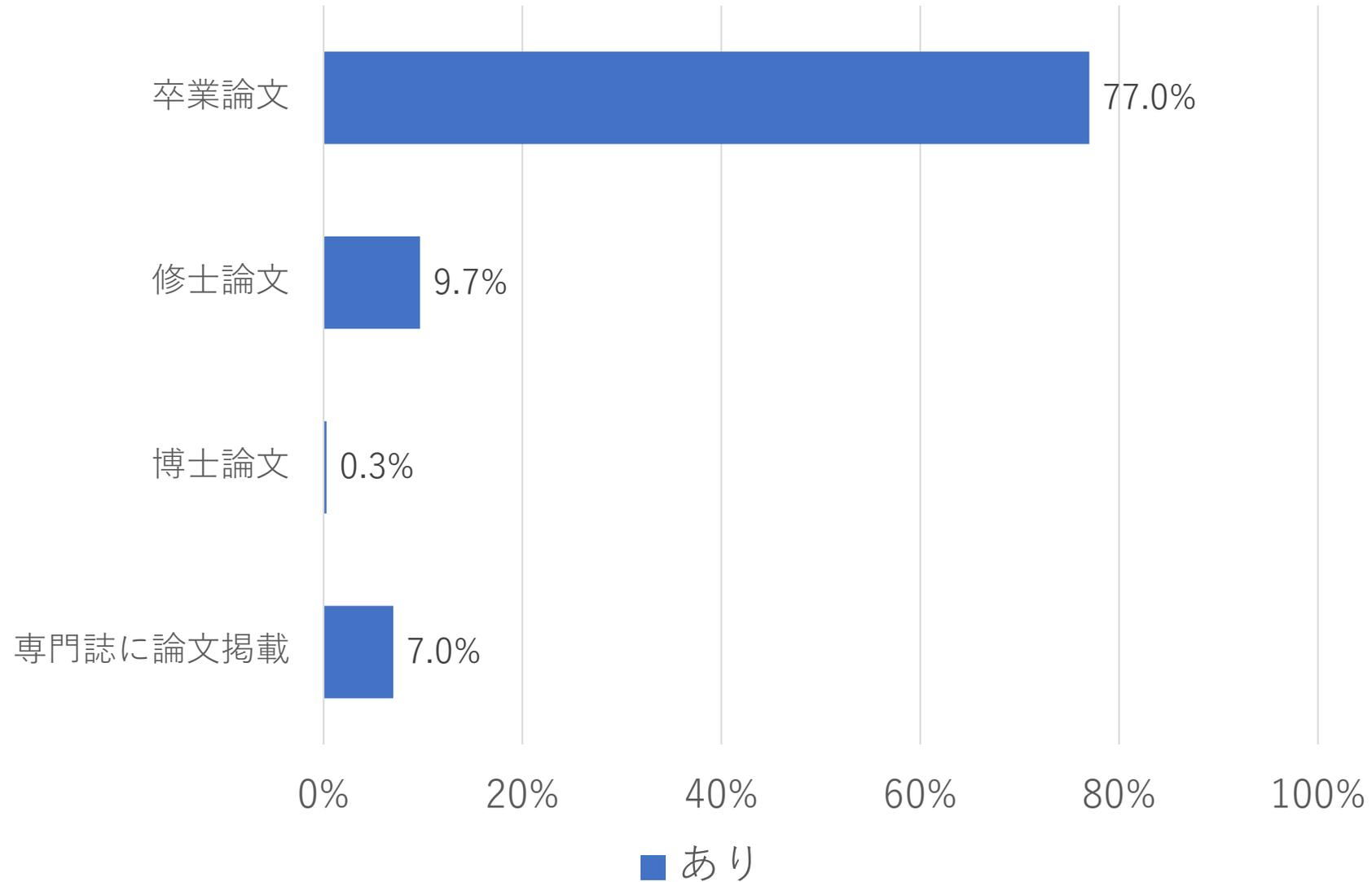
学歴 (管理栄養士・栄養士資格の取得 もしくは関連分野に関わる最終学歴)



■ 専門学校 ■ 短期大学 ■ 短期大学専攻科 ■ 大学 ■ 大学院修士課程 ■ 大学院博士課程

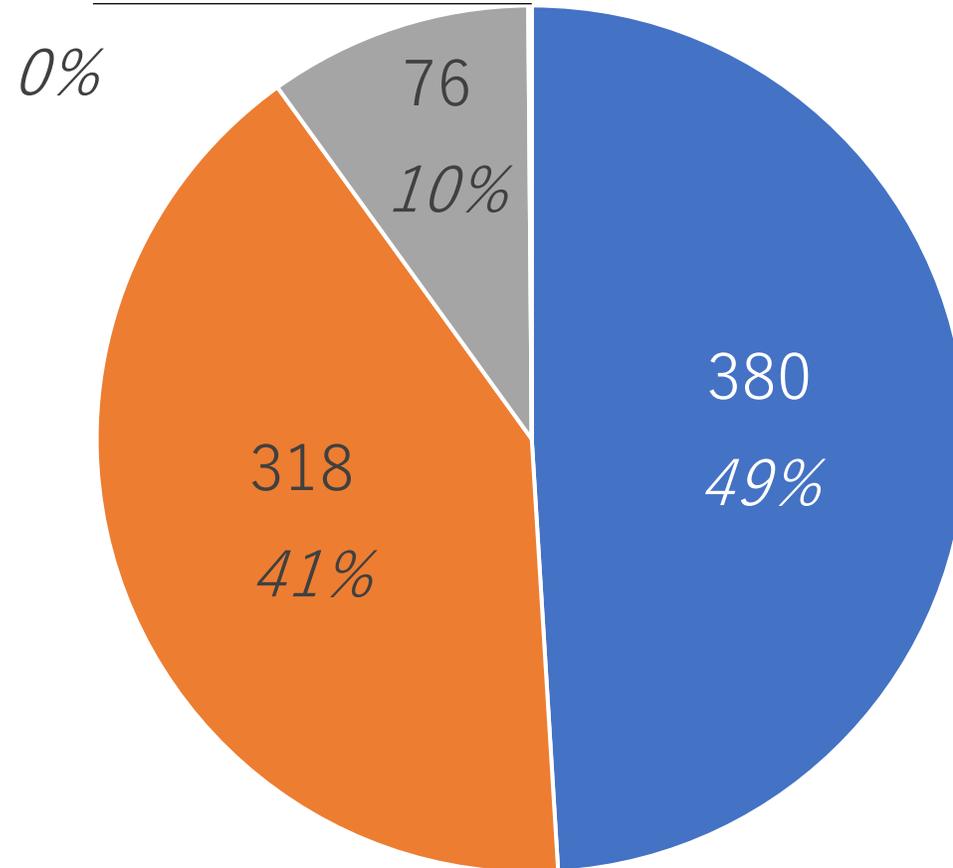
論文作成実績

n=775



将来的に目指したい職位（本庁での職位として勘案）

1
0% n=775



■ 係員 ■ 監督職 ■ 管理職 ■ 不明

補足
監督職
（本庁係長、保健所課長相当）
管理職（監督職以上）

現在の職位別、年齢別にみた将来的に 目指す職位

上段が人数
下段が割合

		目指す職位				
		係員	監督職	管理職	無回答	総計
現在 職位	係員	379	241	42	1	663
		57.2	36.3	6.3	0.2	100
	監督職	1	76	28		105
		1.0	72.4	26.7		100
	管理職		1	5		6
			16.7	83.3		100
無回答			1		1	
総計		380	318	76	1	775

		目指す職位				
		係員	監督職	管理職	無回答	総計
年 齢	20歳代	79	85	15		179
		44.1%	47.5%	8.4%		100
	30歳代	89	67	10		166
		53.6%	40.4%	6.0%		100
	40歳代	101	84	19		204
		49.5%	41.2%	9.3%		100
50歳代	111	82	32	1	226	
	49.1%	36.3%	14.2%	0.4%	100	
総計		380	318	76	1	775

将来的に目指したい職位別にみた目指す理由

(複数回答)

	係員 (n=380)	監督職 (n=218)	管理職 (n=76)	(%)
他職種に負けないう昇任して業務を行いたい。	2.6	40.8	42.1	
既に他職種や自身が目指す職位者と同等以上に業務を行える自信がある。	3.2	15.6	25.0	
昇任して人事権や予算権を持って業務を行いたい。	0.5	15.1	31.6	
昇任して自身や同僚の管理栄養士等が立案した施策を積極的に展開したい。	3.4	65.6	63.2	
昇任して組織内での管理栄養士等の定員を増やしたい。	2.1	55.0	57.9	
昇任して組織内での管理栄養士等の役職ポストを増やしたい。	1.6	45.4	59.2	
幅広く自治体の行政に関わり、大局的な視点から業務を行いたい。	17.1	68.8	65.8	
従前からの慣例で昇任できる職位は決まっている。	16.6	28.0	14.5	
昇任することよりも他職種との人間関係を重視したい。	28.7	19.3	3.9	
育児や介護を優先したいので、無理に昇任したくない。	33.4	20.6	1.3	
健康上の理由で、無理に昇任したくない。	13.7	4.1	3.9	
自分自身が自由に使える時間を減らしたくないので、無理に昇任したくない。	27.1	12.8	2.6	
昇任することで、過大な責任を負いたくない。	24.2	11.9	2.6	
自身に昇任するだけの学力や能力は備わっていないと思う。	44.7	18.8	2.6	
現状に満足しているので、昇任する必要性を感じていない。	17.6	5.5	1.3	
その他の理由	18.2	5.5	2.6	

将来的に目指したい職位別にみた将来の方向性

(上位3つ以内選択) (%)

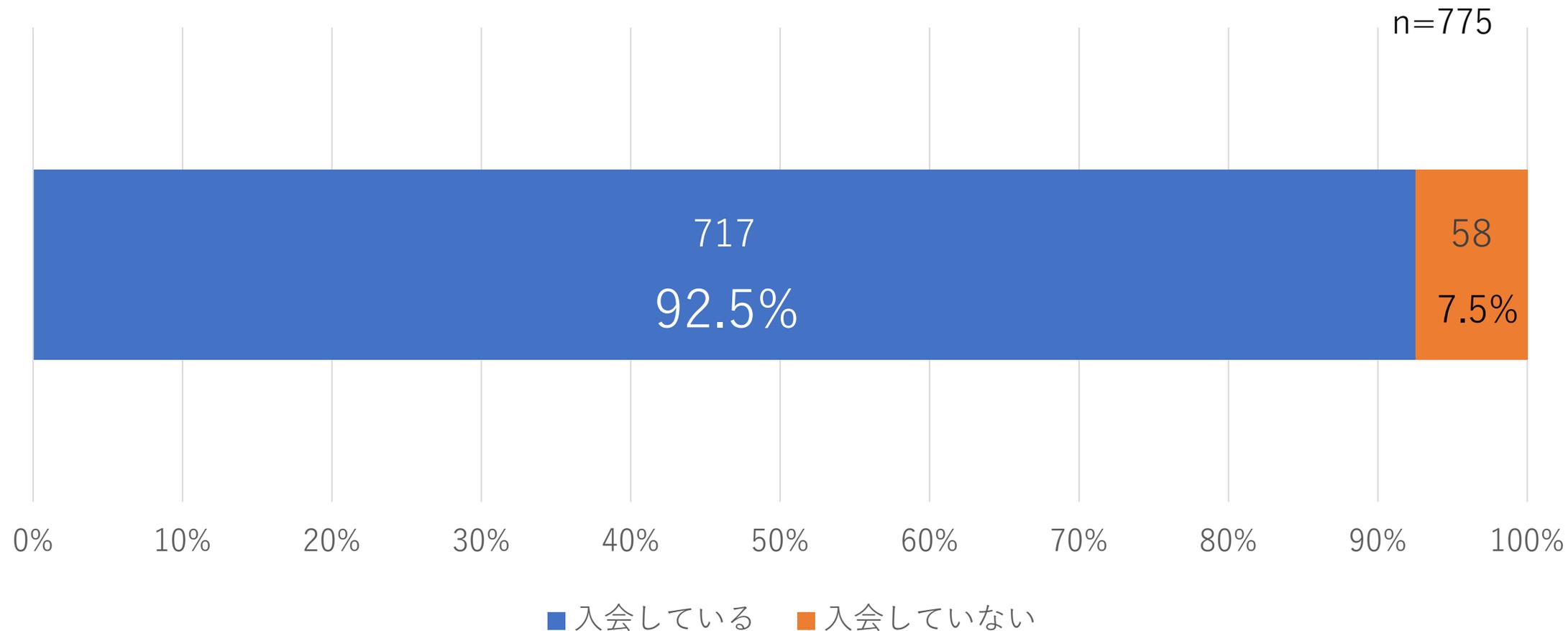
	係員 (n=380)	監督職 (n=218)	管理職 (n=76)
栄養のスペシャリストとして、このまま業務を行いたい。	65.3	61.0	10.5
栄養のスペシャリストとして、昇任して業務を行いたい。	3.9	48.6	48.7
公衆衛生関係のゼネラリストとして、このまま業務を行いたい。	22.1	36.2	13.2
公衆衛生関係のゼネラリストとして、昇任して業務を行いたい。	1.1	39.0	60.5
国や他自治体に転職をしたい。	3.2	5.5	3.9
自身の能力をさらに発揮するため、健康づくり業務以外の部署（行政部局内）に異動したい。	17.9	33.5	26.3
自身の能力をさらに発揮するため、健康づくり業務以外の部署（行政部局外の病院など）に異動したい。	12.1	20.6	9.2
自身の特性に合致しないため、過去に勤務していた健康づくり業務以外の部署に異動したい。	3.7	1.4	2.6
職種転換（事務職等）をしたい。	6.1	4.1	6.6
行政以外の仕事に転職したい（大学等の教員や研究職）。	4.2	9.6	14.5
行政以外の仕事に転職したい（大学等の教員や研究職以外）。	11.8	10.1	6.6
退職したい（働く気持ちがない）。	5.8	1.8	1.3

将来的に目指したい職位別にみた自身の将来（10年後もしくは、退職前まで）にとって、スキルアップしておかなければならない内容（上位3つ以内選択）

	(%)		
	係員 (n=380)	監督職 (n=218)	管理職 (n=76)
行政能力（職業倫理、行動規範等）	14.2	29.8	21.1
専門能力（専門分野の知識、栄養指導技術等）	<u>53.9</u>	<u>58.3</u>	38.2
地域支援力（他職種連携、住民との協働等）	32.1	38.5	18.4
調査研究能力（情報収集、データ分析解析、実践研究報告（論文）等）	31.1	<u>59.2</u>	30.3
調整能力（リーダーシップ、合意形成、論理的な説明、コミュニケーション等）	39.7	<u>68.3</u>	<u>53.9</u>
情報発信能力（プレゼンテーション、仕事の見える化等）	35.3	43.1	30.3
政策形成能力（PDCAサイクルに基づく政策形成と評価等）	33.4	<u>57.3</u>	39.5
組織運営能力（「人・もの・予算」の適切な獲得）	14.2	39.0	34.2
危機管理能力（災害・食中毒・感染症等への対応等）	24.2	34.9	22.4
その他	1.8	0.5	1.3

職能団体への入会状況

現在、職能団体（日本（都道府県）栄養士会や全国保健所管理栄養士会）に1団体以上入会していますか。



職能団体に入会している理由 (複数回答)

n=717

	人数	割合 (%)
必要な情報や知識・技術が得られるため。	560	78.1
他分野の管理栄養士等と関わり、自身の仕事の幅を広げたり、新たな人間関係を構築したかったため。	292	40.7
職務上入会する必要があったため。	290	40.4
職能団体としての社会的地位向上に貢献したいため。	174	24.3
養成施設の教員や先輩栄養士等の関係者より入会を勧められたため。	162	22.6
その他	4	0.6

職能団体が開催する集合型の研修会や勉強会、あるいは、Webなどを活用した遠隔での研修（e-ラーニング等）について、直近の1年間の参加状況

n=717

	人数	割合 (%)
3回以上	235	32.8
1回～2回	330	46.0
参加していない	152	21.2

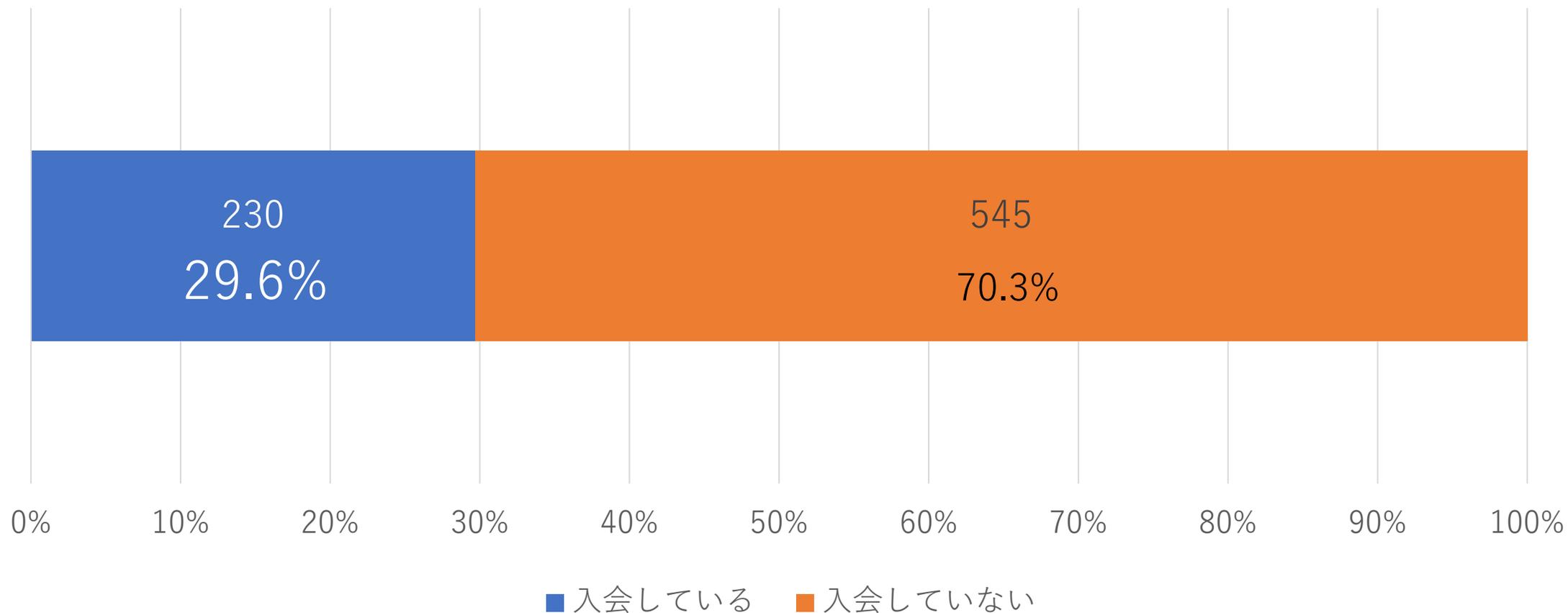
職能団体に入会していない理由 (複数回答)

n=58

	人数	割合 (%)
特に入会しなくても、必要な情報や知識は、職場、所属する学会誌、インターネット等から得られる。	24	41.4
特に理由はない（入会する機会がなかった。）。	20	34.5
会費に見合っただけのメリットがない。	18	31.0
役員などの業務を引き受けたくない。	12	20.7
自身のプライベートを大切にしたい。	10	17.2
日常、支援・指導している他分野の管理栄養士等と関わりたくない。	2	3.4
会費の未納等の理由により、いつの間にか退会扱いとなった。	2	3.4
その他	9	15.5

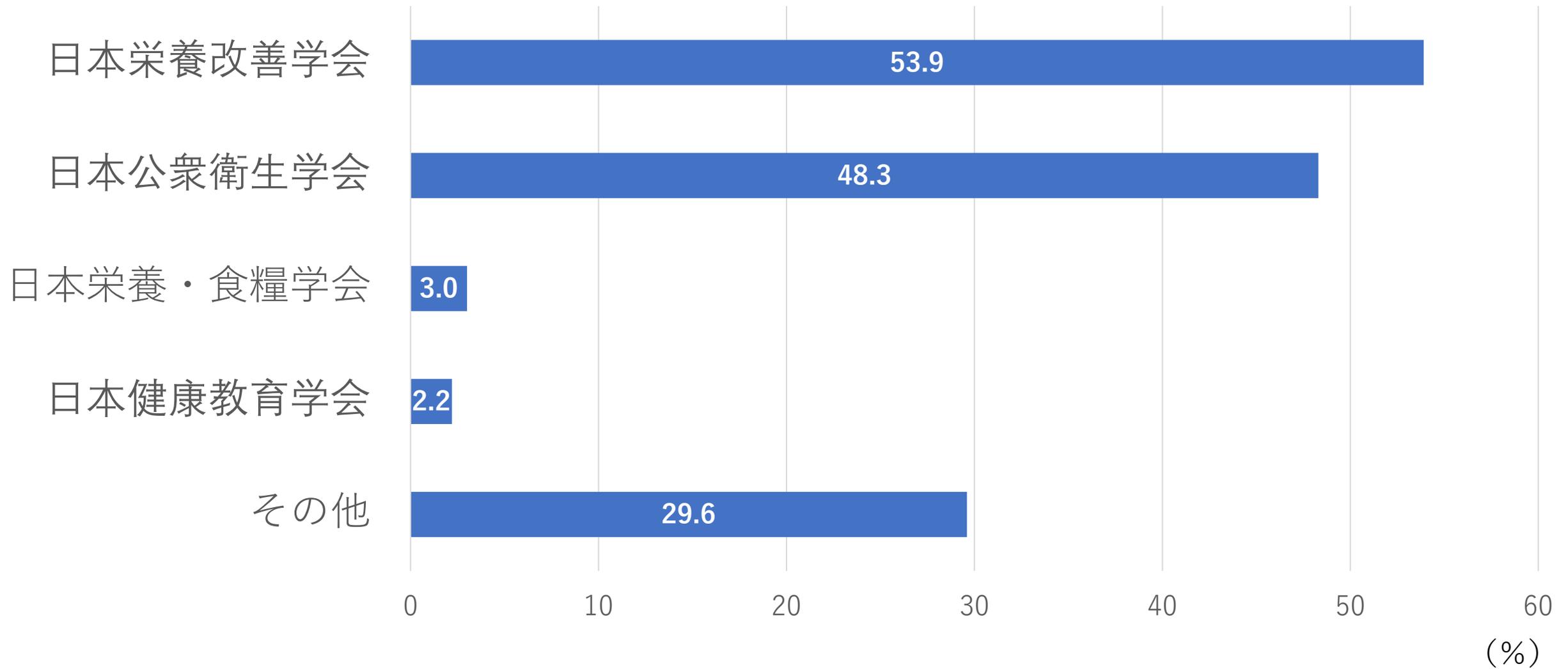
関連学術団体への入会状況

n=775



入会している関連学術団体の状況

n=230

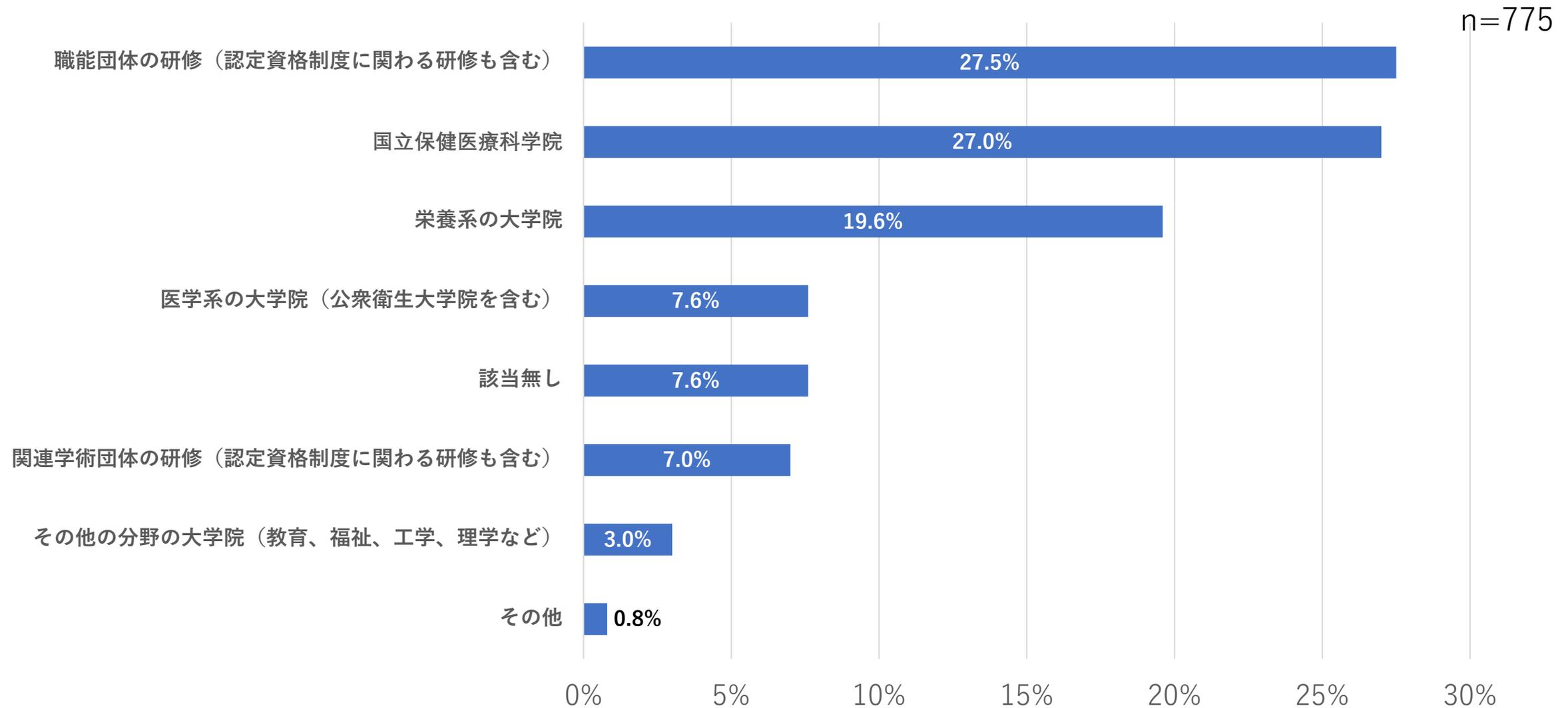


関連学術団体に入会している理由 (複数回答)

n=230

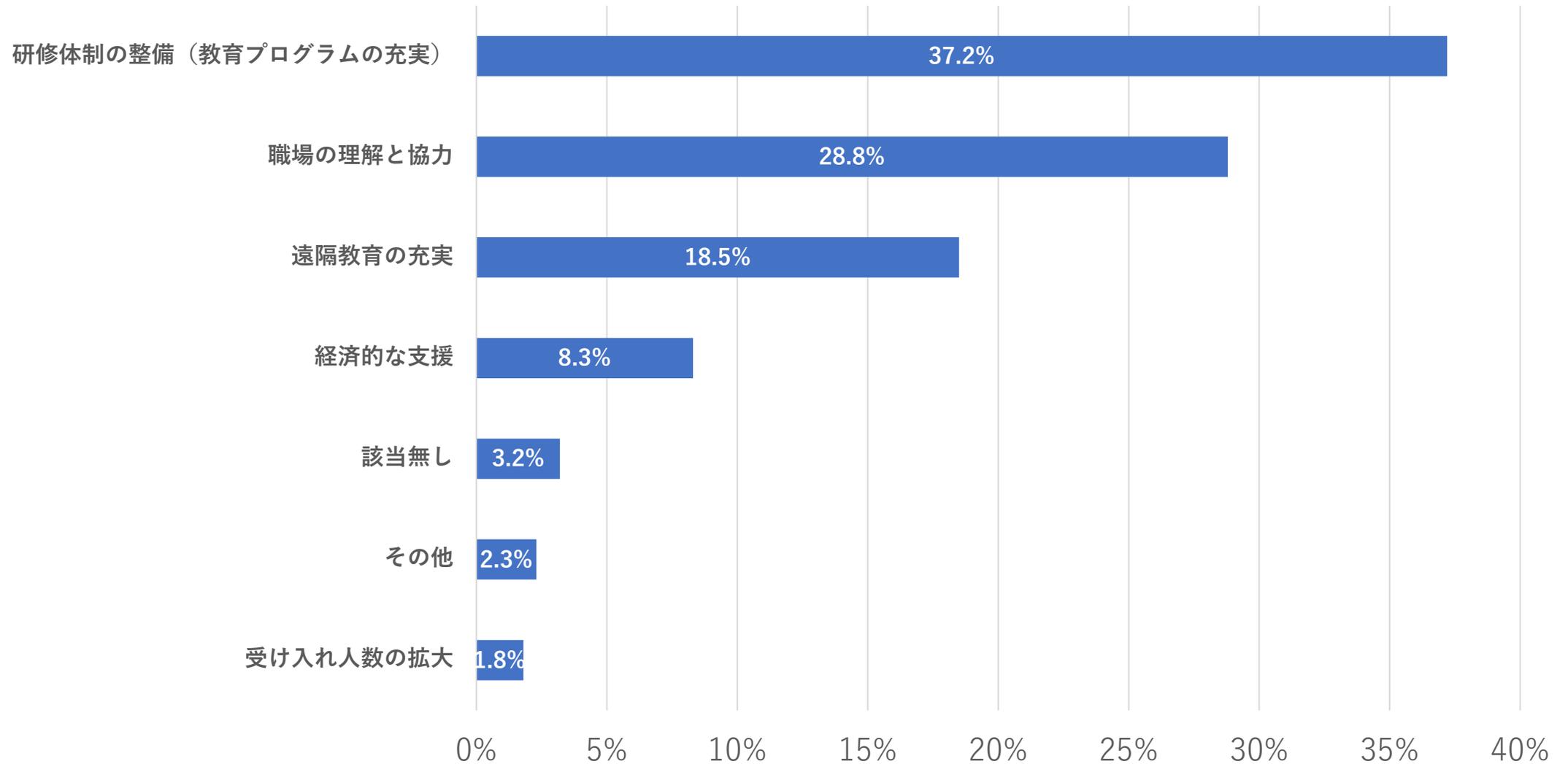
	人数	割合 (%)
所属することで、職場では得られない必要な情報や知識が得られるため。	176	76.5
他職種や他分野の管理栄養士等と関わり、自身の仕事の幅を広げたり、新たな人間関係を構築するため。	81	35.2
業務の実績等を発表・発信するため。	73	31.7
会費に見合っただけのメリットがあるため。	30	13.0
認定資格等を新たに取得したり、継続・維持するため。	27	11.7
役員などの業務を通じて、職種としての資質向上に活かしたいため。	16	7.0
その他	15	6.5

あなた自身のスキルアップのため所属・入学・受講してみたい外部機関や取り組み(1位)



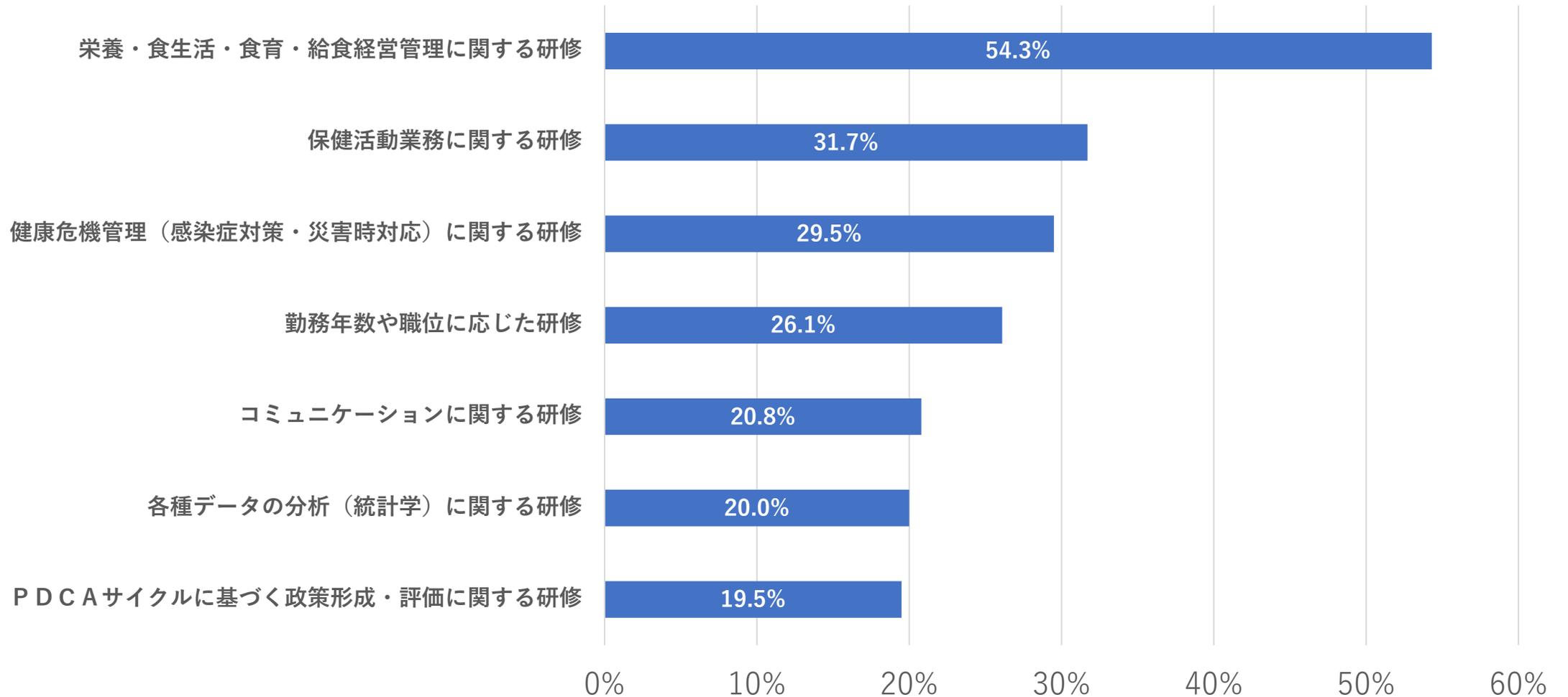
あなた自身のスキルアップのため必要な体制整備について、 あなたが優先すべきと考える順位（1位）

n=775



あなた自身のスキルアップのため、現在勤務している自治体が実施した研修で特に役立ったと思う内容（上位7つ）

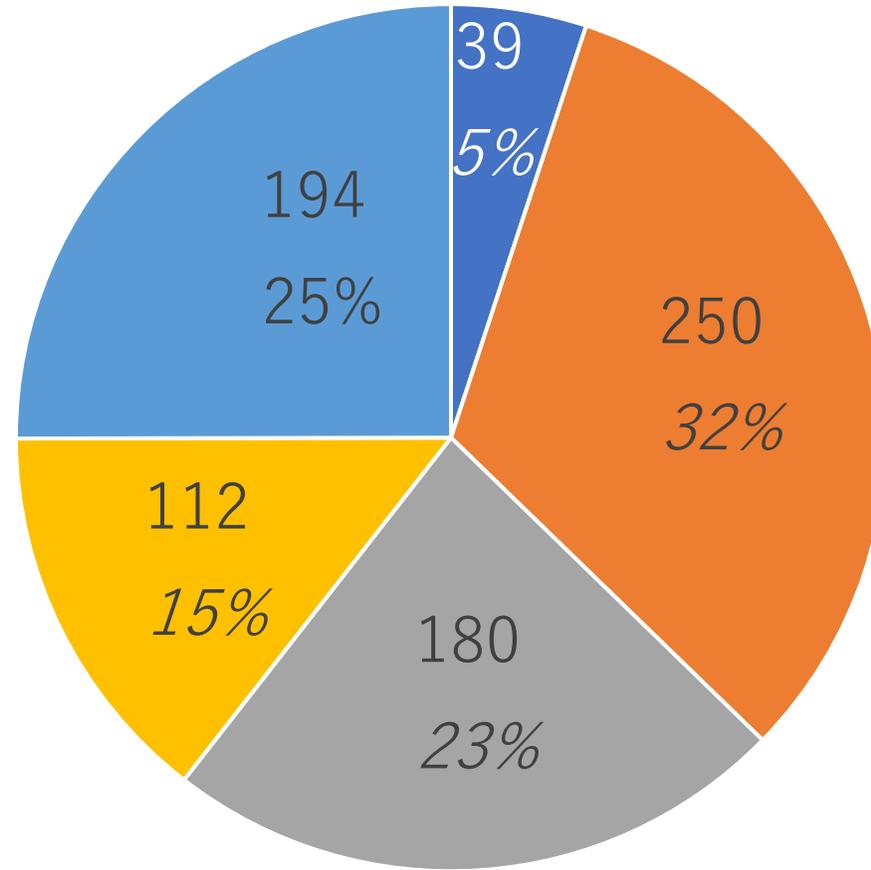
n=775



（5つ以内複数回答可）

自身のスキルアップのため、認定栄養士・ 認定専門家制度の必要度

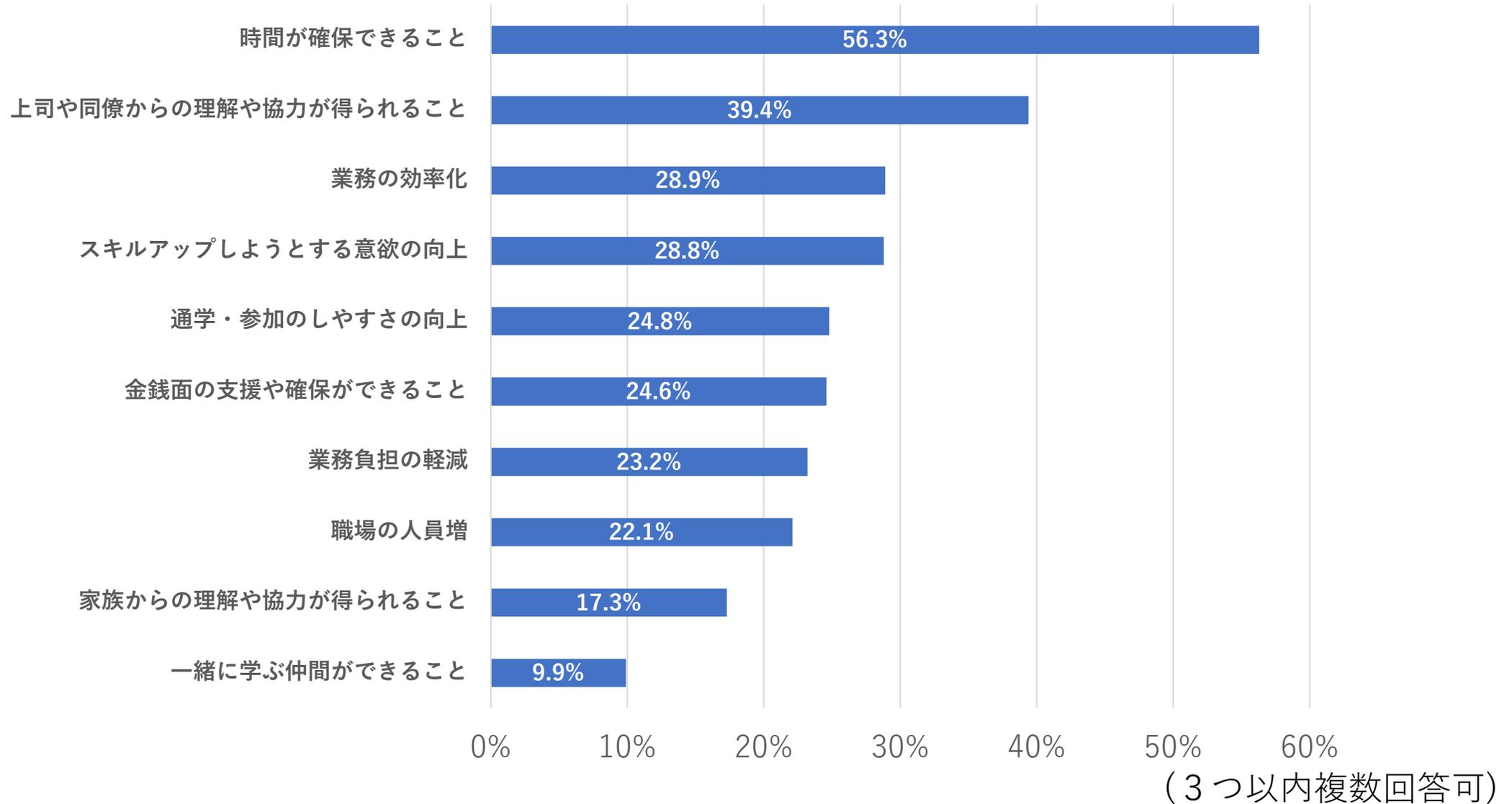
n=775



■ とても必要 ■ 必要 ■ 現状レベルでよい ■ あまり必要でない ■ わからない

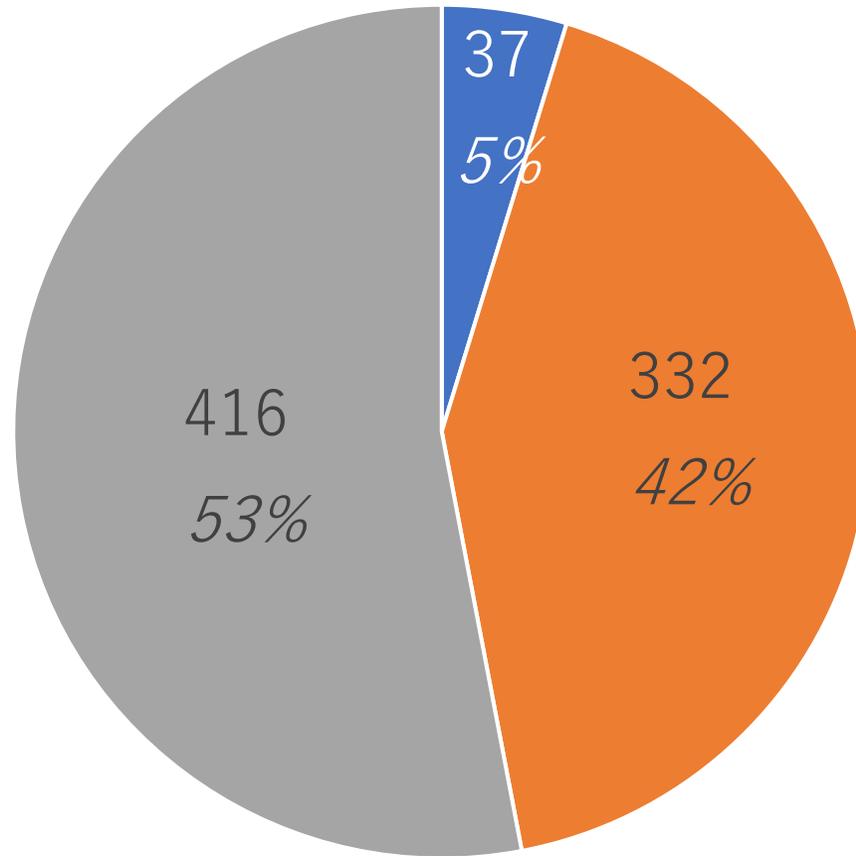
環境が整備され、自身がスキルアップを開始しようとする際、必要なこと

n=775



勤務する地方公共団体のすべての管理栄養士のうち、10年後に最も高い職位となる者が得てほしい職位（本庁での職位として勘案）

n=775



■ 係員 ■ 監督職 ■ 管理職

補足

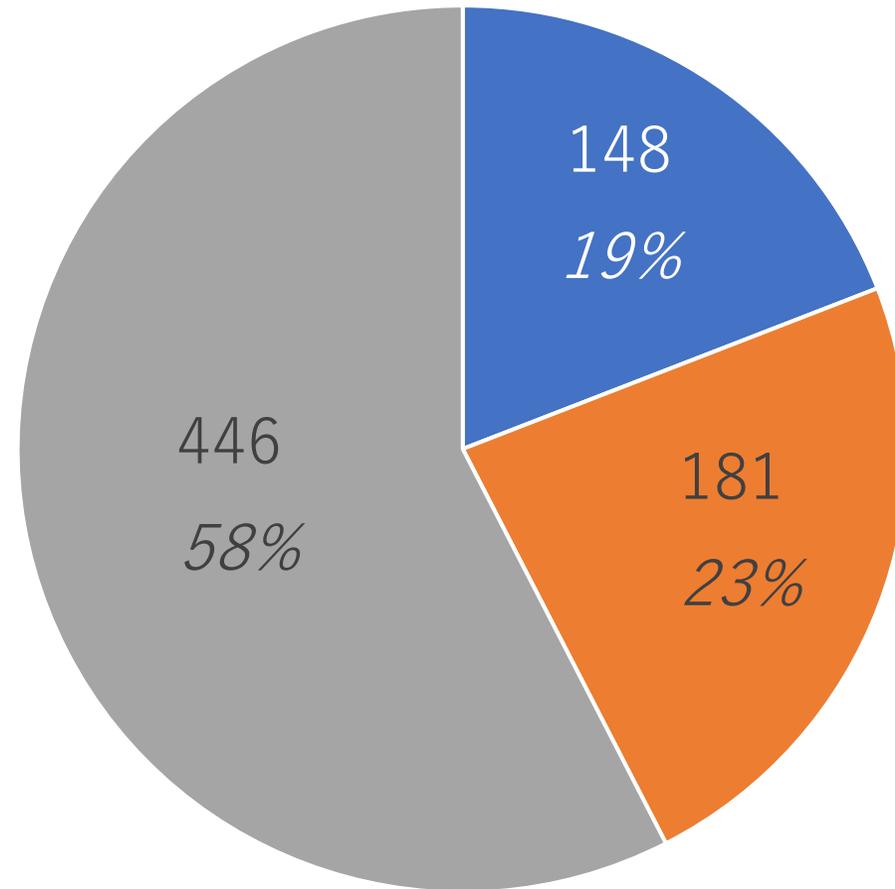
監督職

（本庁係長、保健所課長相当）

管理職（監督職以上）

あなたには、自身のキャリアプランはありますか。

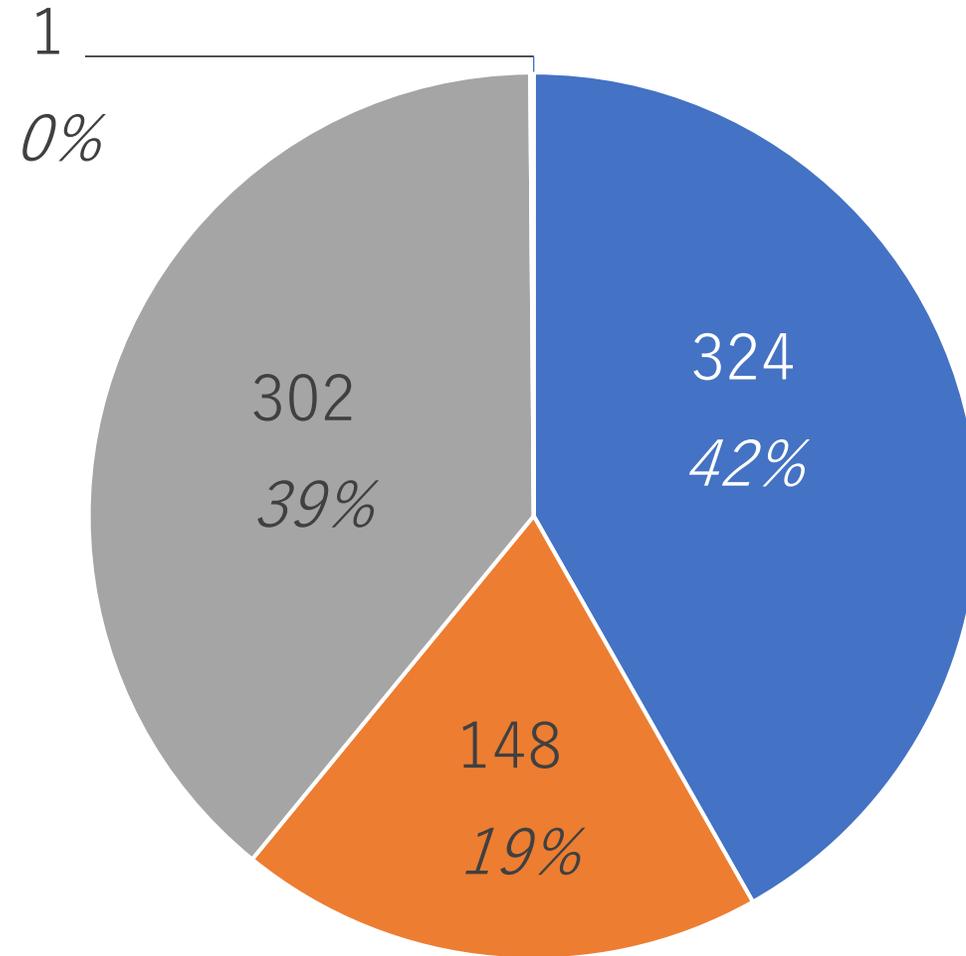
n=775



■ ある ■ ない ■ 検討中

あなたは、ビジョンや目標（短・中・長期）を掲げて
仕事していますか。

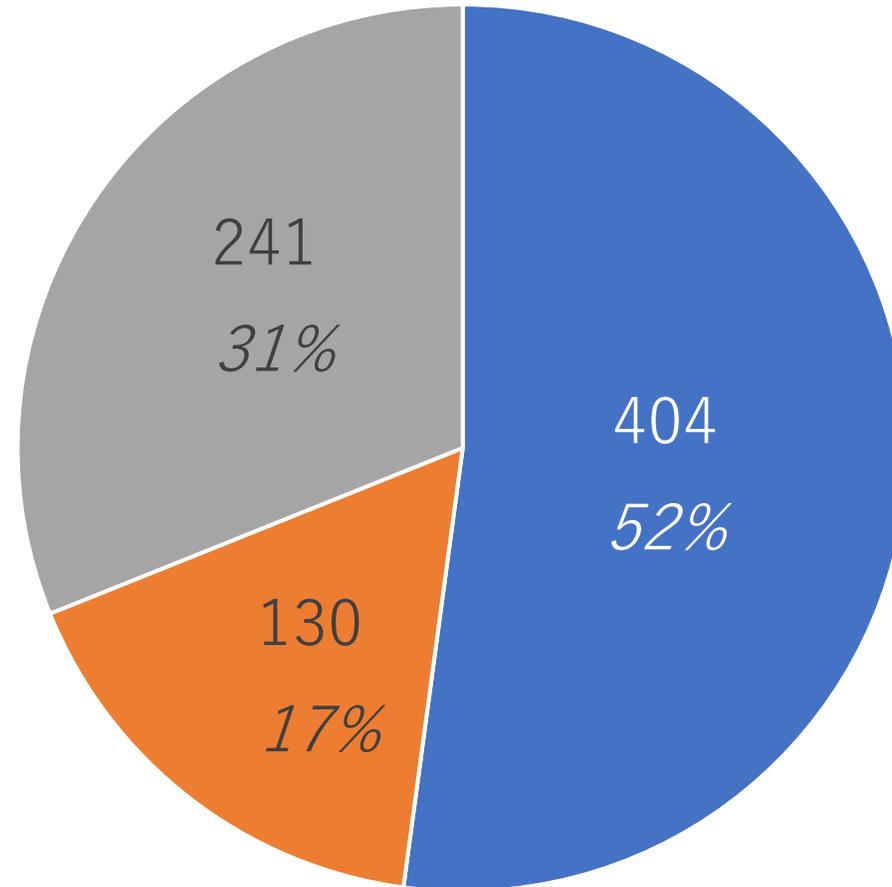
n=775



■ している ■ していない ■ 検討中 ■ 不明

あなたには、目標とする栄養士像もしくは人物像（将来の目標到達に向けて、備えたい能力や能力を身に付けるためにすべきこと）
はありますか。

n=775



■ ある ■ ない ■ 検討中

まとめ

- 地域住民の健康づくりを担うという行政栄養士本来の業務を継続して担うことを目指している行政栄養士が多く存在すると推察できた。行政栄養士としての専門能力のスキルアップのニーズは高く、教育プログラムの充実が求められる。
- 一方、将来的に目指したい職位として監督職が41%、管理職が10%であり、10年後に最も高い職位となる者が得てほしい職位として53%が管理職と回答していることから、昇任に向けた能力開発も必要と考える。
- 行政栄養士一人ひとりにおいて、目指す方向性は分かれるという現状に即した育成プログラムの開発の必要性があると考ええる。